

大田西中学校が

開校しました

4月7日、「温泉津中学校」と「仁摩中学校」の二校が統合した「大田西中学校」の開校式が行われ、全校生徒154名で新たな歴史を刻み始めました。

統合後の校舎は旧仁摩中学校の校舎が使われます。また、校歌や校章は、地元の思いを取り入れるため募集を行い、応募のあった作品を参考に作詞を温泉津町出身で直木賞作家の難波利三さんに、作曲を大代町出身でオペラ歌手の田中公道



▲校名の「西」=「WEST」から頭文字の「W」をベースに翼の形で羽ばたくようなイメージを持たせています

さん、校章デザインを仁摩町在住の大畑修一さんが制作しました。

校歌は、長く歌い継がれるようにやさしいことばが使われ、現在、過去、未来がイメージされています。歌詞の中に、「習いて一歩一歩ずつ 輝く未来を 切り拓く」とあり、生徒がこの「大田西中学校」で学び、

大田西中学校校歌

- 1、遙か三瓶の 空仰ぐ
明けゆく仁万の 地に集い
われらが共に 学ぶ庭
希望に燃え立つ 日を重ね
心と身体 鍛えよう
- 2、世界に響く 銀の
歴史を秘める 温泉津浜
先人達の 知恵の汗
誇りに明日へ 船出する
努力と勇氣 育もう
- 3、友と親しむ ひとときも
正しく刻む 砂時計
習いて一歩 一歩ずつ
輝く未来を 切り拓く
西中学よ わが母校

一歩ずつ前に進み、自分の未来を自分で切り拓き、輝かしいものにしてくれると思います。



▲大田西中学校の開校式の様子

温泉津中学校閉校式

温泉津中学校の閉校式が3月22日同校の体育館で行われ、51年に及ぶ歴史に幕を閉じました。

温泉津中学校は、湯里、温泉津、福波、井田それぞれの地区の中学校が昭和38年に名目統合し、温泉津中学校として、それぞれの校舎で授業を開始したことに始まります。その後、昭和41年、待望の新校舎完成により、実質的な統合が完了しました。
中学校では、「豊かな感

性と明確な意思を持ち、共に学びあい、高めあう生徒の育成」を教育目標として、これまで多くの生徒を育んできました。

当日は、生徒61名の他、

教職員、関係者の出席のもと、式典が行われ、最後に全員で校歌を斉唱しました。

また、式典終了後は地元実行委員会主催による記念行事が行われ思い出話に花を咲かせました。



▲旧温泉津中学校の校舎

仁摩中学校閉校式

仁摩中学校の閉校式が3月22日同校の体育館で行われ、48年の歴史に幕を閉じました。



▲仁摩中学校閉校式の様子

仁摩中学校は、昭和41年仁万中学校と馬路中学校が名目統合しそれぞれの校舎で授業を開始したことに始まります。その後、昭和43年新校舎完成により実質的な統合が完了しました。

当日は、生徒106名の他、教職員、関係者の出席のもと、式典が行われ、最後に全員で校歌を斉唱しました。

また、式典終了後は、地元実行委員会主催の記念行事が行われ勇壮な神楽や卒業生、在校生による思い出話などが繰り広げられました。